

事務事業評価シート

事務事業コード	001000	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	放課後子ども教室推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成19年度 ～ 全期	
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり	根拠法令、根拠計画等		
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%		ソフト(義務)
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%		運営方法
予算	予算事業名	放課後子ども教室推進事業費(学校教育課)	予算事業コード	01-09-04-02-17-01		
		放課後児童クラブ数・受入人数	2,288人	3,303人	会計区分	一般会計

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童・保護者
意図 (どのような状態にするために)	小学校区において放課後や週末等に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動・体験活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。
手段 (どうするか)	小学校の空き教室や小学校近隣の公共施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て子ども教室を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	
	年度別実績	①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(米里小)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,233	0	0	0	0	
	直接経費 A	6,233	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,470	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,763	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	【KPI】放課後子ども教室設置数	箇所	目標	3	5	5	5	5
				実績	4	0	0	0	0
	(指標の説明) 放課後子ども教室の設置されている小学校数(基準値は平成26年度時点)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学務係 0857-20-3356</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P233(教035)</p> <p>【事業の概要】 放課後や週末等における地域の子どもの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て、子どもたちに、様々な体験・交流・学習活動の機会を提供する。</p> <p>【事業の成果】(対象)小学生 (児童数)平成26年度 神戸19人、明治20人、東郷25人 6,248,139円 平成27年度 神戸24人、明治21人、東郷22人 6,420,407円 平成28年度 神戸25人、明治26人、東郷26人、米里43人 6,233,005円</p> <p>【今後の課題・方向性】 放課後児童対策事業としては、同種の放課後児童クラブより財政的に有利な事業であるが、全国的に新設数が増加したため要綱の一部が見直され、日数・時間数等に制限が設けられた。それにより、児童クラブ代替措置として子ども教室を開設してきたが、今後大幅に拡充していくことは難しい。しかし、小規模学校転入制度を活用して転入されている児童(東郷)には、これまでどおりの開設時間の配慮が必要であり、補助対象外予算を計上しなければならない。また、事業実施地域の評価・ニーズとも高く、今後とも放課後児童クラブの開設が難しい小学校区において、必要性があれば実施していくことに加え、児童クラブと連携する子ども教室の開設を検討していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	【KPI】放課後子ども教室設置数	133%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	既開設の3校区に加え、米里小で放課後児童クラブと連携した子ども教室を開設した。
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>現在開設している校区で継続して開設すると共に、放課後児童対策事業が未実施の校区で、必要性や地域性を考慮し開設を検討する。また、放課後児童クラブと連携した子ども教室を検討する。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	001100	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域教育力向上モデル事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成30年度
	政策 施策	01 1102	豊かな心をもった、たくましいひとづくり 教育の充実・郷土愛の醸成		根拠法令、 根拠計画等	
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域教育力向上モデル事業費		予算事業コード	01-09-04-02-19-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童
意図 (どのような状態 にするために)	放課後や週末等に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動・体験活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。
手段 (どうするのか)	地域の方々に支えられて、放課後児童クラブに通う児童も含めたすべての子どもたちに学習や多様な体験活動を行う居場所づくりを確保し、放課後児童クラブと一体的または連携した総合的な放課後における健全育成を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①地域の方々に支えられて、放課後児童クラブに通う児童も含めたすべての子どもたちに学習や多様な体験活動を行う居場所づくりを確保し、放課後児童クラブと一体的または連携する	①モデル事業の継続	①モデル事業の継続			
	年度別実績	①米里小学校で実施					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	770	0	0	0	0	
	直接経費 A	770	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	770	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	子ども教室入級児童数	人	目標	46	48	50	0	0	
		実績		46	49	0	0	0		
	(指標の説明) 子ども教室入級児童数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学務係 0857-20-3356</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】予算事業別概要目次：当初予算・P233（教036）</p> <p>【事業の概要】 地域の方々に支えられて、放課後児童クラブに通う児童も含めたすべての子どもたちに学習や多様な体験活動を行う居場所づくりを確保し、放課後児童クラブと一体的または連携した総合的な放課後における健全育成を推進する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年10月より米里小学校で実施</p> <p>【今後の課題・方向性】 学校運営委員会で開設要望のあった米里小学校で試験的に実施することとし、平成28年度～平成30年度までのモデル事業とする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	子ども教室入級児童数	100%	102%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 学校運営委員会で開設要望のあった米里小学校で試験的に実施することとし、平成28年度～平成30年度までのモデル事業とする。		

事務事業評価シート

事務事業コード	001200	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成21年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業費			予算事業コード	01-09-01-03-84-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童
意図 (どのような状態にするために)	豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験を行う。
手段 (どうするか)	佐治町の民家での農林家暮らし体験を中心としながら、林業体験や和紙づくり体験などの自然体験・文化体験活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	平成29年度 ①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	平成30年度 ①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	平成31年度 ①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	平成32年度 ①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	
	年度別実績	①市内25校が実施					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,742	0	0	0	0	
	直接経費 A	12,742	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	12,700	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	42	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	1	農山村生活体験活動の実施校数	校	目標	25	30	30	35	35	
				実績	25	0	0	0	0	
	(指標の説明) 農山村生活体験活動の実施校数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P231（教031）</p> <p>【事業の概要】 児童が、佐治町の農山村での生活体験を通じて、豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさ、人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験となることを期待して実施する。</p> <p>【事業の成果】 佐治町内で小学生が2泊3日の体験活動を行う。 ○農林家暮らし体験、林業体験、郷土料理づくり体験、魚のつかみどり体験、和紙づくり体験、星空観察、座禅体験、座禅体験、佐治谷話し など</p> <p>〔事業費実績額〕 平成26年度 小学校14校 7,042千円 平成27年度 小学校20校 11,275千円 平成28年度 小学校25校 12,743千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していくため、今後も計画的に実施していくことが大切である。佐治地域だけでなく、他の地域に出かけて体験活動をするなど、新たな取り組みを検討する時期に来ている。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	農山村生活体験活動の実施教数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>〔事業実績〕タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>〔指標〕タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>体験活動に参加した児童は、ふるさとの歴史や自然の良さを実感し、山間地域に暮らす人々への関心が高まっている。また、地域の活性化にもつながっている。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新市の豊かな地域資源を活用した教育活動を支援していくため、今後も実施校を増やしていくことが大切である。今後も昨年度と同様に、各校が次年度の学校行事を計画する前に希望調査を取り、新たに本事業に組み込まれるように働きかけていきたい。また、受け入れ時期を冬期にも広げるなど一年を通じて実施できる体験活動としてのプログラムを開発していきたい。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001300	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域で育む学校支援ボランティア事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成24年度～平成31年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成			
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域で育む学校支援ボランティア事業費			予算事業コード	01-09-01-03-98-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校、中学校
意図 (どのような状態 にするために)	学校と地域が協働しながら、児童生徒へのきめ細かな指導や安全安心な学校生活の支援を行う。
手段 (どうするのか)	小・中学校に配置されたコーディネーターが活動をコーディネートし、地域のボランティアが児童生徒の生活・学習支援や学校の環境整備・安全パトロールなどの活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート	平成29年度 ①ボランティアによる学校支援 ②コーディネーターの配置	平成30年度 ①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート	平成31年度 ①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート	平成32年度 ①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート	
	年度別実績	①・学習生活支援ボランティア ・授業補助 ・登下校の見守り ・環境整備 ②・ボランティアのコーディネート、連絡調整 ・研修会参加	①・学習生活支援ボランティア ・授業補助 ・読み聞かせ ・登下校の見守り ・環境整備 ②・ボランティアのコーディネート、連絡調整 ・研修会参加				
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	8,550	0	0	0	0	
	直接経費 A	8,550	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	8,550	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	実施小・中学校数	単位	校	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績	48	0	20	12	0					
	2	(指標の説明)	実施小・中学校数	目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0					
	3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0				
		実績	0	0	0	0	0					

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P231（教032）</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティアによる学校支援 <ul style="list-style-type: none"> ○学習・生活支援ボランティア（小学校1～3年生） ○授業補助、読み聞かせ、登下校の見守り、環境整備 等 2 コーディネーターの配置 <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアのコーディネート、連絡調整、研修会参加 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域と学校の協働による、児童生徒へのきめ細かな指導や安全安心な学校生活が行われるようになった。 2 コーディネーターの配置により、地域が学校に主体的にかかわるようになり、スムーズにボランティア活動が行われるようになった。 <p>〔事業費実績額〕</p> <p>平成26年度 6,400千円 平成27年度 7,680千円 平成28年度 8,550千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も、学校とボランティアをつなぐコーディネーターを配置し、多様な知識や経験を持つ多くの地域人材の発掘や、学校のニーズにあったボランティア活動の支援を行い、全61校での実施を目指す。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	実施小・中学校数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>〔事業実績〕タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>〔指標〕タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

地域住民を中心としたボランティア活動は、児童生徒へのきめ細かな対応や、安心・安全な学校生活を実現し、学校への大きな支援につながっている。その活動を支えているのが、ボランティアコーディネーターであり、市内全校へのコーディネーター配置を目指して、本事業のさらなる拡充が必要である。平成32年度に地域学校協働本部へ移行を目指す。

事務事業評価シート

事務事業コード	001400	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	自立と創造の学校づくり推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり	根拠法令、 根拠計画等		
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 施策の	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	運営方法	直営
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	自立と創造の学校づくり推進事業費		予算事業コード	01-09-01-03-36-03	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全小・中学校
意図 (どのような状態 にするために)	市立小中学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、自立し創意工夫ある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。
手段 (どうするのか)	学校が企画した教育活動及び取組内容に応じて、裁量の予算を拡充し、意欲や工夫・考え方を審査して予算配分する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	年度別計画		①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分
年度別実績		①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	19,131	0	0	0	0	
	直接経費 A	19,131	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	19,131	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	実施学校数	校	目標	62	62	59	59	59
			実績	62	0	0	0	0
(指標の説明) 計画書に基づいて特色ある取組を実施した小中学校数								
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P225（教020）</p> <p>【事業の概要】 本事業は、従来より継続してきた「特色ある学校づくり推進事業」をベースとしながら、学校が提出する実施計画書の内容に応じて予算配分する方法を導入した事業であり、平成16年度より実施してきた。</p> <p>現在地域に開かれた特色ある学校づくりを実現するため、各学校の教育理念や教育方針に基づき、目標達成型の自主的・自律的な学校経営を行うことが求められている。この事業は、そのような学校経営を後押しするために、学校長裁量の予算を拡充し、学校の創意工夫、自主的な取組に関して、各学校が企画立案を行い、教育委員会が評価・査定を行った上で、必要な予算を措置する。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>①一律支援予算による事業 児童・生徒数に応じて配分する予算で、従来より効果的に展開されてきた事業並びに日常の教育活動について、自主的に学校が運営できる予算として配分する。</p> <p>②特別支援予算による事業 特色ある学校づくりのために独自に企画立案した計画書をもとに成果が期待される事業に対して評価・査定を行った上で予算配分する。</p> <p>③人材活用支援予算による事業 学校教育活動への地域の人材の活用や、広く社会で活躍する先輩を招聘しての事業について予算配分する。</p> <p>【事業費実績額】 平成26年度 19,270千円 平成27年度 18,971千円 平成28年度 19,131千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた特色ある学校づくりが進んでいる。地域からも評価が大変高い事業であり、今後は、事業内容の見直しと改善を図りつつ充実させていく方針である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	実施学校数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>それぞれの小中学校で、児童生徒及び保護者、地域の実態や願いが加味された特色ある教育活動が推進されており、「自立と創造の学校づくり」の上で十分な成果が見られ、なくてはならない事業といえる。委託事業として今後も継続して実施したい。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	001500	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学力向上推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人		
予算	予算事業名	学力向上推進事業費			予算事業コード	01-09-01-03-52-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中学校児童生徒
意図 (どのような状態 にするために)	児童生徒個々が「確かな学力」を身につける。
手段 (どうするのか)	基礎学力の定着と学力の向上に向けた全市的な施策を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	年度別計画		①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業
年度別実績		①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	9,895	0	0	0	0	
	直接経費 A	9,895	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	9,895	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	回	目標	3100
			実績	2628	0	0	0	0
	(指標の説明) 地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 学力向上推進事業の委託数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 参加する児童生徒数							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P228（教025）</p> <p>【事業の概要】 本市は全国学力・学習状況調査で良好な状況を維持しているが、個々の児童・生徒の学力の分布状況や課題を分析する中で、基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒もある。地域の人材を活用しながら進める「基礎学力定着支援事業」により、「家庭や地域との連携」を図りながら学力向上に努めている。</p> <p>【事業の成果】 地域人材を活用して実施しており、学校と地域の協働が進んでいる。 特に、長期休業などで基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒のみならず、多くの児童・生徒の学力向上や学習習慣の定着に効果が見られる。</p> <p>[事業費実績額] 平成26年度 4,287千円 平成27年度 4,442千円 平成28年度 9,895千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域人材の確保が難しい地域もある。今後も、保護者や地域への情報発信を推し進め、地域の声を反映させるとともに、地域人材を積極的に活用し、学校・保護者・地域が協働した学力向上策を進めたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	85%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>平成26年度から全小中学校で実施することとし、支援者も対象児童生徒数も増加している。今後もすべての児童生徒を対象とした学力向上策として継続していきたい。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	001600	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	未来のとっとり教育創造事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成26年度 ～ 全期
	政策 施策	01 1102	豊かな心をもった、たくましいひとづくり 教育の充実・郷土愛の醸成	根拠法令、 根拠計画等	
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	事業分類区分
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	運営方法
放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	未来のとっとり教育創造事業費		予算事業コード	01-09-01-03-36-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	3 指定中学校 6 指定中学校区
意図 (どのような状態 にするために)	地域創造学校（鳥取市版コミュニティ・スクール）、ICTの活用、英語教育を推進するために
手段 (どうするか)	先進実践の取り組みを推進し、広く全市にその成果を還元する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	
	年度別実績	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,371	0	0	0	0	
	直接経費 A	2,371	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,371	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	【KPI】実施小・中学校数	校	目標	6	0	0	10	0
				実績	8	0	0	0	0
	(指標の説明) 次世代を見据えた地域創造学校やICTの活用、英語教育を推進する学校(基準値は平成26年度)								
2	学校運営協議会の実施回数	回	目標	9	0	0	0	0	
			実績	18	0	0	0	0	
(指標の説明) 地域創造学校の運営協議会の実施回数									
3	研究授業の実施回数	回	目標	4	0	0	0	0	
			実績	5	0	0	0	0	
(指標の説明) ICTの活用、英語教育の研究授業の実施回数									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-20-3357</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P226（教022）</p> <p>【事業の概要】 次の3つの研究課題について学校を指定し、組織・教育内容・指導方法について先進的に実践し、各校へ広める。 研究課題① 保護者・地域とともに歩む魅力ある学校づくり 研究課題② 子どもたちの主体的な学びをつくるICT活用 研究課題③ グローバル化に対応した英語教育</p> <p>【事業の成果】 保護者や地域の方の参画による学校運営が広がり、コミュニティスクールとして運営する学校が増えている。また、ICTを活用した授業が他教科に広がったり、プログラミング教育に関する関心が高まったりしている。さらに、小学校英語の教科化を踏まえ、先行実施の取り組みが広がっている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	【KPI】実施小・中学校数	133%				
	2	学校運営協議会の実施回数	200%	200%			
	3	研究授業の実施回数	125%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>中教審でもコミュニティスクールの設置を推進しており、本市でもますますの広がりを見せている。また、小学校英語の教科化を踏まえ、先進的な取り組みを各校に広める必要もある。したがって本事業のますますの拡充を考えている。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001700	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	特色ある中学校区創造事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 位置	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり	根拠法令、 根拠計画等		
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	運営方法	外部委託
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	特色ある中学校区創造事業費		予算事業コード	01-09-01-03-36-07	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全中学校区
意図 (どのような状態 にするために)	中学校区の特色ある取り組みを推進するために
手段 (どうするのか)	学校・保護者・地域で構成された推進委員会に委託

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共通実践 ③中学校区教育フォー ラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共通実践 ③中学校区教育フォー ラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共通実践 ③中学校区教育フォー ラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共通実践 ③中学校区教育フォー ラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共通実践 ③中学校区教育フォー ラムの実施	
	年度別実績	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、 共通実践 ③中学校区教育フォー ラムの実施					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,000	0	0	0	0	
	直接経費 A	4,000	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,000	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	【KPI】「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童の割合(小学校)	%	目標	90	0	0	95	0	
				実績	90	0	0	0	0	
	(指標の説明) 全市共通の4項目アンケート調査の結果(基準値(平成26年度)/小5~6:90%)									
	2	【KPI】「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う生徒の割合(中学校)	%	目標	85	0	0	90	0	
				実績	88	0	0	0	0	
	(指標の説明) 全市共通の4項目アンケート調査の結果(基準値(平成26年度)/中1~3:85%)									
3	中学校区教育フォーラムの開催回数	校区	目標	17	0	0	0	0		
			実績	17	0	0	0	0		
(指標の説明) 中学校区で開催する教育フォーラムの回数										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-20-3357</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【事業の経過及び背景】予算事業別概要目次：当初予算 P226 (教012)</p> <p>本市では、義務教育9年間を見通した指導を行うことで、学力の向上や学校不適應の解消をめざす「小中一貫教育」を推進してきている。平成23年度からの3年間で、全中学校区が「めざす子ども像」を設定し推進体制を整えるとともに、合同研修会や児童生徒交流の実施、地域への情報発信等を行い、小・中学校のつながりを強めてきた。今後はその成果を踏まえ、中学校区が一体となって、より特色ある取組を総合的に推進することが大切である。</p> <p>【事業の目的及び効果】</p> <p>各中学校区が、地域や児童生徒の実態を踏まえ、特色ある取組を総合的に進め、「めざす子ども像」の実現を図るとともに、地域全体の教育力の向上につなげる。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼保・小・中学校の一貫した取組 <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を高め確かな学力を身につける授業改善 ・学校不適應の未然防止につながる魅力ある学校づくり 等 ○家庭・地域との連携による取組 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣や学習習慣の育成のための啓発活動 ・モラルやマナー・ルールを大切にす風土(人)づくり 等 ○地域の特色を生かした取組 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や文化、人材を生かした教育活動 ・地域フォーラム、小中合同発表会等の開催 等 <p>平成26年度：5,000,000円 平成27年度：3,670,000円(見込み)</p> <p>【今後の取り組み】今後も各中学校区の特色ある取り組みを維持していきたい。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童の割合(小学校)	100%				
	2	【KPI】「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う生徒の割合(中学校)	104%	104%			
	3	中学校区教育フォーラムの開催回数	100%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>課題が複雑化する昨今の状況を踏まえると、学校と地域の協力、幼・小・中の連携は今後一層重要になる。本市の重点施策でもあり、いっそうの拡充を考えている。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	001800	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	運営方法	その他
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人		
予算	予算事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業費			予算事業コード	01-09-01-03-26-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中学校生徒
意図 (どのような状態にするために)	様々な社会体験活動を行う中で地域社会に学び、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や自ら課題を見つけて解決していこうとする意欲、態度を身につける。
手段 (どうするのか)	中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間の体験活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別計画	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動
年度別実績	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第2学年生徒)						
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,923	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,923	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,923	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	生徒アンケートの肯定的な回答率	%	目標	0
	(指標の説明) 体験活動後の生徒アンケートにおける肯定的な回答率			実績	0	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P224（教018）</p> <p>【事業の概要】 事業は、「鳥取市ワクワクとっとり推進協議会」に委託して実施し、中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間を基本とした体験活動を行う。</p> <p>【事業の成果】 中学校2年生の社会体験活動は、合併前からほとんどの市町村で取り組まれていた事業であり、合併後も中学校全17校で実施している。</p> <p>【事業費実績額】 平成26年度 1,970千円 平成27年度 1,923千円 平成28年度 1,923千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 教育基本法や学校教育法の改正等では、「生きる力」を身に付け、しっかりとした勤労観・職業観を形成・確立する必要性が示されており、様々な社会体験活動を行うことで地域社会に学び、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や、自ら課題を見つけ解決していこうとする意欲、態度を育成する。 また、地域で生徒を育むという意識の高揚を図るとともに、学校教育の中に保護者や地域の意見を取り入れることにより、鳥取市教育ビジョンめざす子ども像「ふるさとを思い志をもつ子」の育成や、大人全体で担う新たな教育システムの創造につなげていく。 体験活動日数については学校裁量として、今後も事業を継続していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	生徒アンケートの肯定的な回答率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>この事業は、中学校でのキャリア教育の充実や「ふるさとを思い 志をもつ子」の育成を目的とし、成果を上げ続けている。今後も継続して実施する必要性がある。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	001900	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取市グローバル人材育成事業		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成28年度 ～ 全期	
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり	根拠法令、根拠計画等		
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%		ソフト(任意)
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%		運営方法
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取市グローバル人材育成事業費			予算事業コード	01-09-01-03-18-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	次代を担う本市在住の中学生
意図 (どのような状態にするために)	多様な文化・歴史に触れ、人々と交流する機会を提供し、国際的感覚の優れた人材の育成
手段 (どうするのか)	英語圏域であるシンガポールに派遣し、現地学校との交流やホームステイ、文化施設等の訪問プログラムを実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①シンガポールに本市在住中学生を10名派遣	平成29年度 ①シンガポールに本市在住中学生を10名派遣	平成30年度 ①シンガポールに本市在住中学生を10名派遣	平成31年度 ①英語圏に本市在住中学生を10名派遣	平成32年度 ①英語圏に本市在住中学生を10名派遣
	年度別実績	①68名の応募者から書類審査により20名を選考。4回の事前研修を経て、シンガポールに派遣。帰国後、事後研修を実施し、報告書を作成。				
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	9,498	0	0	0	0
	直接経費 A	9,498	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	8,014	0	0	0	0
	一般財源	1,484	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		[KPI]実施中学校数	校	目標	3	3	3	3	0	
			実績	15	0	0	0	0		
	(指標の説明) グローバル人材の育成に向けた英語等に特化したモデル校の設置									
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		[KPI]中学生派遣人数	人	目標	10	10	10	10	0	
		実績	20	0	0	0	0			
(指標の説明) 中学生の海外派遣										
3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 校区審議室 0857-20-3089
	【10次総の施策体系】 1102
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P216（教001）
	【事業の概要】 英語圏域であるシンガポールに市内在住の中学生を派遣し、現地学校との交流やホームステイ、文化施設等の訪問などのプログラムを実施し、多様な文化と歴史に触れる短期間（5日間程度）研修を行う。
	【事業の成果】 全体事業費：9,498千円 68名の応募者から書類審査により20名を選考。4回の事前研修を経て、シンガポールに派遣。帰国後、報告会を実施し、報告書を作成した。また、各中学校での報告会も行い、事業の成果を周知することができた。
【今後の課題・方向性】 より実効性を高める研修とするため、派遣中の研修プログラムを工夫することや、事前・事後研修の充実を図ることが必要であると考え。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】実施中学校数	500%				
	2	【KPI】中学生派遣人数	200%	200%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	初めての取組だったが、教育委員会と学校が強く連携を図り、実施することができたため。
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	各種関係機関等の協力もあり、当初よりも規模を拡大して事業を実施することができたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>本事業に参加した中学生にとって、言葉・文化・民族が異なってもお互いを尊重し合うことの素晴らしさ、相手のことを考えて思いやりの気持ち、積極的にコミュニケーションをとることの大切さなどを学ぶ経験は、大きく成長するための貴重な契機となった。引き続き、さらに実効性のあるものとなるように工夫し、これからの鳥取を担う子どもたちが、この学びの経験を生かし、夢や希望を持って成長できる取組にしていきたいと考える。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	002000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	大規模改造事業(小学校)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度	
	政策 施策	01 1102	豊かな心をもった、たくましいひとづくり 教育の充実・郷土愛の醸成	根拠法令、 根拠計画等		
施策の 目標	目標の種類別		平成28年度	平成32年度		
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	事業分類区分	建設、整備
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	運営方法	直営
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	大規模改造事業費(小学校)		予算事業コード	01-09-02-03-46-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各小学校
意図 (どのような状態 にするために)	施設老朽化対策を実施し、安全面・適切な施設機能面の確保を図る。
手段 (どうするのか)	外壁・トイレ等、各所の劣化施設の改修工事

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①福部未来学園校舎改修・増築実施設計業務	平成29年度 ①久松小学校校舎改修設計業務 ②福部未来学園校舎改修・増築工事	平成30年度 ①改修設計業務 ②久松小学校校舎改修工事	平成31年度 ①改修設計業務 ②改修工事	平成32年度 ①改修設計業務 ②改修工事	
	年度別実績	①福部未来学園校舎改修・増築実施設計業務					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費		事業費(A+B)	13,589	0	0	0	0
		直接経費 A	13,589	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	12,900	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	689	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	改修工事実施箇所数	単位	施設	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績	1	0	0	0	0					
		(指標の説明)										
	2	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
		(指標の説明)										
	3	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
		(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P217(教003)</p> <p>【事業の概要】 各小学校の外壁・トイレ等の劣化個所の改修工事</p> <p>【事業の成果】 小学校の施設老朽化対策を実施することにより、安全面・適切な施設機能面の確保を図る。 平成28年度 校舎改修・増築実施設計(福部未来学園) 13,589千円 平成29年度 校舎改修実施設計(久松小学校) 9,339千円 (予定額) 特別教室棟ほか改修実施設計(福部未来学園) 17,108千円 校舎改修・増築工事(福部未来学園) 500,000千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 現段階で個別施設における改修等の計画がないことから、平成32年度までに個別施設の長寿命化計画を策定し、学校施設状況を十分に把握することとする。 策定後においては、耐用年数を設定し、事業費の平準化と適切な維持管理における延命を図ることで、計画及び予算の確保を努めることとする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	改修工事実施個所数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>本市における学校施設は平成30年度をもって耐震化率が100%となり構造的には安全性が確保されるが、建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防ぐため予防保全的な施設改修は不可欠であるとする。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002101	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校校舎改築事業(北中学校)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成25年度 ~ 平成28年度
	政策 施策	01 1102	豊かな心をもった、たくましいひとづくり 教育の充実・郷土愛の醸成		根拠法令、 根拠計画等	
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	北中学校校舎改築事業費		予算事業コード	01-09-03-03-25-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	北中学校校舎
意図 (どのような状態 にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	改築工事を行い、安全の確保と教育環境の改善を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別計画	①教室棟改修工事 ②渡り廊下増築工事 ③屋外運動場整備工事	《H28で事業完了》	《H28で事業完了》	《H28で事業完了》	《H28で事業完了》
年度別実績	①教室棟改修工事 ②渡り廊下増築工事 ③屋外運動場整備工事	《H28で事業完了》	《H28で事業完了》	《H28で事業完了》	《H28で事業完了》	《H28で事業完了》	
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	262,957	0	0	0	0	
	直接経費 A	262,957	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	25,596	0	0	0	0
		地方債	225,000	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,361	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	北中学校施設の改修工事の進捗率	%	目標	100
	(指標の説明)		実績	100	0	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P218(教005)</p> <p>【事業の概要】 北中学校校舎のうち、昭和36、38、40、52年に建設の校舎6棟が耐震性の低い建物と診断され、補強が必要となったため、耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定取得を平成23年度に行った。しかし、このうちの5棟が地盤沈下の影響が激しく、補強工事だけでは耐震効果が出ないと判断されたため、校舎改築を行うこととした。</p> <p>【事業の成果】 平成25～28年度で校舎を改築・改修し、教育環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積・構造 校舎：鉄筋コンクリート造 4階建 延床面積 3,607㎡ ・工事内容 渡り廊下増築、大規模改修(外壁・床・空調設備・トイレ)、グラウンド整備工事 ・内訳(H28) <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>工事費</td><td>254,611千円</td></tr> <tr><td>仮設渡り廊下借上料</td><td>5,072千円</td></tr> <tr><td>監理委託料</td><td>2,516千円</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>758千円</td></tr> <tr><td>計</td><td>262,957千円</td></tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 平成28年度をもって事業完了</p>	工事費	254,611千円	仮設渡り廊下借上料	5,072千円	監理委託料	2,516千円	事務費	758千円	計	262,957千円
	工事費	254,611千円									
仮設渡り廊下借上料	5,072千円										
監理委託料	2,516千円										
事務費	758千円										
計	262,957千円										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	北中学校施設の改修工事の進捗率	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定の結果を踏まえ、補強工事だけでは耐震効果が出ないと判断されたことから、平成25年度より校舎改築事業を実施し、平成28年度をもって計画どおり事業完了となった。このことから、地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができたと考え。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002102	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校校舎改築事業(青谷中学校)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成27年度 ~ 平成29年度
	政策 施策	01 1102	豊かな心をもった、たくましいひとづくり 教育の充実・郷土愛の醸成	根拠法令、 根拠計画等	
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	事業分類区分
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	運営方法
放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	青谷中学校校舎改築事業費		予算事業コード	01-09-03-03-28-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	青谷中学校校舎
意図 (どのような状態 にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	補強では不相当との評定を受け、改築を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①校舎改築工事 ②仮設教室棟賃貸借	①校舎改築工事 ②仮設教室棟賃貸借	<平成29年度で事業完了予定>	<平成29年度で事業完了予定>	<平成29年度で事業完了予定>	
	年度別実績	①校舎改築工事 ②仮設教室棟賃貸借		<平成29年度で事業完了予定>	<平成29年度で事業完了予定>	<平成29年度で事業完了予定>	
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	360,108	0	0	0	0	
	直接経費 A	360,108	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	65,677	0	0	0	0
		地方債	286,300	0	0	0	0
		その他	4,045	0	0	0	0
一般財源	4,086	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	青谷中学校校舎改築事業進捗率	%	目標	80	20	0	0	0	
		実績		80	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
	実績		0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P218(教006)</p> <p>【事業の概要】 青谷中学校の校舎のうち、昭和34、35年に建設の校舎2棟が耐震性能の低い建物と診断され、補強が必要となったため、耐震補強工事に向けた審査機関の評定取得を平成24年度に行った。しかし、建物の老朽化に伴う劣化が激しいことやコンクリートの中性化の進行、地盤沈下の影響などにより補強工事に付随する改修工事に多額の経費を捻出することとなるため、校舎改築を行うこととした。</p> <p>【事業の成果】 校舎改築を行うことにより、地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造・面積 校舎：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3階建 延床面積 約2,332㎡ (既存校舎解体撤去 2,649㎡) ・工事内容 校舎改築工事(平成27～29年度) ・内訳(H28) 校舎改築工事費 278,729千円 工事監理業務 6,528千円 仮設教室棟賃貸借 73,846千円 事務費 1,006千円 計 360,109千円 <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度をもって事業完了予定</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	青谷中学校校舎改築事業進捗率	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

平成27年度より校舎改築事業を実施し、平成29年度をもって概ね計画どおり事業完了となる。このことから、地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができたと考える。

事務事業評価シート

事務事業コード	002103	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校校舎改築事業(気高中学校)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成26年度 ~ 平成29年度
	政策 施策	01 1102	豊かな心をもった、たくましいひとづくり 教育の充実・郷土愛の醸成		根拠法令、 根拠計画等	
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	会計区分	一般会計
放課後児童クラブ数・受入人数	2,288人	3,303人			予算事業コード	01-09-03-03-29-01
予算	予算事業名	気高中学校校舎改築事業費				

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	気高中学校校舎
意図 (どのような状態 にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	補強では不相当との評定を受け、改築を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①気高中学校校舎改築 ②仮設教室棟賃貸借	平成29年度 ①仮設教室棟賃貸借	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	年度別実績	①気高中学校校舎改築 ②仮設教室棟賃貸借					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	891,833	0	0	0	0	
	直接経費 A	891,833	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	115,601	0	0	0	0
		地方債	724,300	0	0	0	0
		その他	28,465	0	0	0	0
一般財源	23,467	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		気高中学校校舎改築事業進捗率	%	目標	98	2	0	0	0
		(指標の説明)		実績	98	0	0	0	0
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							
	3		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P219 (教007)</p> <p>【事業の概要】 気高中学校の校舎のうち、昭和42年に建設の校舎2棟が耐震性能の低い建物と診断され、耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定取得を行ったが、改修費用及び補強工事及び補強部材による建物の室用途制限が多くなることから、校舎改築を行うこととした。</p> <p>【事業の成果】 校舎改築を行うことにより、地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積・構造 校舎：鉄筋コンクリート造 3階建 延床面積 3,726㎡ ・工事内容 校舎改築工事 ・内訳 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>工事費</td><td>680,925千円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>16,920千円</td></tr> <tr><td>仮設校舎賃借料</td><td>178,821千円</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>4,443千円</td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td>10,724千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>891,833千円</td></tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p>	工事費	680,925千円	委託料	16,920千円	仮設校舎賃借料	178,821千円	事務費	4,443千円	備品購入費	10,724千円	合計	891,833千円
	工事費	680,925千円											
委託料	16,920千円												
仮設校舎賃借料	178,821千円												
事務費	4,443千円												
備品購入費	10,724千円												
合計	891,833千円												

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	気高中学校校舎改築事業進捗率	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>平成28年度に校舎の改築工事は完了している。校舎改築を行うことにより地震発生時における児童・教職員の安全を確保、非常時における避難所としての機能を果たすため早期の事業完了を目指す。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	002200	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	不登校対策事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期
	政策 施策	01 1102	豊かな心をもった、たくましいひとづくり 教育の充実・郷土愛の醸成	根拠法令、 根拠計画等	
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	事業分類区分
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	運営方法
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人	会計区分
予算	予算事業名	不登校対策事業費		予算事業コード	01-09-01-03-12-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立小学校・中学校、及びその児童・生徒
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取市立小・中学校の児童生徒における学校不適応傾向の解消及び未然防止
手段 (どうするか)	鳥取市学校不適応対策専門委員会でも不適応対策について総括的に討議し、学校不適応の未然防止と課題解消を推進する。特に地域を含めた中学校区の学校の連携を強め、小中の連続性のある不適応対策、児童生徒支援を行っていく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	平成29年度 ①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	平成30年度 ①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	平成31年度 ①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	平成32年度 ①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	
	年度別実績	①学校不適応対策専門委員会を年3回開催し、市の不適応対策について検討した。②③各中学校区においてスーパーバイザーを招聘し、不適応対策委員会を実施し、不適応の解消や教職員の力量の向上を図った。					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	455	0	0	0	0	
	直接経費 A	455	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	455	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	学校不適応対策専門委員会の実施回数	単位	回	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績	3	3	3	3	3					
	2	指標名	スーパーバイザーによる助言指導回数	単位	回	目標	17	17	17	17	17	
		実績	22	0	0	0	0					
	3	指標名	(指標の説明) 不適応対策専門委員がスーパーバイザーとして、学校・中学校区へ助言指導した回数	単位		目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0					

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 生徒指導係 0857-20-3366</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P222 (教014)</p> <p>【事業の概要】 学校不適應の専門家や地域協力員の活用により、学校不適應の解消に向けた取り組みを行う。 ①学校不適應対策専門委員会、地域協力員の会、学校代表の会を行い、対策事業を推進する。 ②学校不適應対策専門委員会の委員を各学校に派遣し、助言や支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 学校不適應対策専門委員会(委員15名)の開催 地域協力員(委員60名)の会の開催 スーパーバイザーによる各校への指導助言の実施</p> <p>〔事業費実績額〕 平成26年度 337千円 平成27年度 380千円 平成28年度 456千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 不登校の背景も年々複雑になり、不登校児童生徒の出現率は依然高い状況にある。今後も不適應対策委員による方針のもとに、各小中学校や中学校区において、未然防止と早期対応を進めるとともに、各専門機関との連携を強化し不登校の解消に当たっていく。また、個別の事案に対して専門家を交えた支援会議を行うなどスーパーバイザー等の一層の活用を図り、不登校の改善をめざしていく。本市教育の重要課題である学校不適應の解消のためにも本事業の継続が必要であると考えている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	学校不適應対策専門委員会の実施回数	100%				
	2	スーパーバイザーによる助言指導回数	129%	129%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

学校不適應の解消は、本市の重要課題でもあり、学校と地域、関係専門機関が連携して、学校不適應の解消に当たっている。今後、関係専門機関との早期連携、未然防止、早期対応のための情報共有の体制づくり等を充実・強化しながら、学校不適應対策をより進めていく必要を感じている。

事務事業評価シート

事務事業コード	002300	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	特別支援教育支援員配置事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	内部管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	特別支援教育支援員配置事業費		予算事業コード	01-09-01-03-66-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全ての小・中学校
意図 (どのような状態にするために)	発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と、当該要支援児童生徒の学習活動を支援する。
手段 (どうするのか)	発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を派遣する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①支援員を配置	平成29年度 ①支援員を配置	平成30年度 ①支援員を配置	平成31年度 ①支援員を配置	平成32年度 ①支援員を配置		
	年度別実績	①支援員を配置 H28年度追加配置:6校、7人						
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業費	事業費(A+B)		53,535	0	0	0	0	
	直接経費 A		53,535	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県		0	0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		53,535	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	支援員配置校数	単位	校	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績	46	52	56	59	59	59				
		(指標の説明)	特別支援教育支援員の配置校数									
	2	目標	0	0	0	0	0	0				
		実績	0	0	0	0	0	0				
		(指標の説明)										
	3	目標	0	0	0	0	0	0				
		実績	0	0	0	0	0	0				
		(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】教育センター 0857-36-6060</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P229（教027）</p> <p>【事業の概要】 発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と、当該要支援児童生徒の学習活動を支援するため、発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を派遣する。</p> <p>【事業の成果】 特別支援教育支援員を配置することによって、障がいのある児童生徒の個々の障がいの状況や教育的ニーズに応じた学習指導及び生活指導を担当を補助しながら実施し、該当児童生徒はもとより、学級全体の精神的安定、授業や学級経営の円滑な運営を図ることができた。</p> <p>〔事業費実績額〕 平成26年度 38,132千円 平成27年度 45,259千円 平成28年度 53,536千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 配置希望校への配置率は、徐々に上がってきているが、十分ではない。数値目標を定めながらも、可能な限り、さらに配置率を高めることが課題である。学校規模等も考慮しながら各学校の実態に応じた配置を推進していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	支援員配置校数	88%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>〔事業実績〕タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>〔指標〕タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>配置希望校への配置率は、徐々に上がってきているが、十分ではない。学校からの要望が高く、配置の効果も大きいため、数値目標を定めながらも、可能な限り、さらに配置率を高めることが課題である。学校規模等も考慮しながら各学校の実態に応じた配置を推進していく必要がある。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002400	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公立環境大学運営費交付金事業		所属名	企画推進部 政策企画課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成24年度 ～ 全期
	政策 施策	01 1102	豊かな心をもった、たくましいひとづくり 教育の充実・郷土愛の醸成	根拠法令、 根拠計画等	地方独立行政法人法、公立大 学法人鳥取環境大学定款
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	事業分類区分
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	運営方法
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人	会計区分
予算	予算事業名	環境大学運営費交付金	予算事業コード	01-02-01-07-45-02	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公立大学法人公立鳥取環境大学
意図 (どのような状態 にするために)	公立大学法人公立鳥取環境大学の持続可能な運営を行う。
手段 (どうするのか)	公立大学法人公立鳥取環境大学の毎年の運営費の一部を、鳥取県とともに負担する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①大学運営費交付金 512,689千円 (H28年度は運営費交 付金に施設整備補助金 を含む)	①大学運営費交付金 469,532千円 ②施設整備補助金 51,554千円	①大学運営費交付金 ②施設整備補助金	①大学運営費交付金 ②施設整備補助金	①大学運営費交付金 ②施設整備補助金	①大学運営費交付金 ②施設整備補助金
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①大学運営費交付金 512,399千円 (H28年度は運営費交 付金に施設整備補助金 を含む)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	512,399	0	0	0	0	
	直接経費 A	512,399	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	61,612	0	0	0	0
一般財源	450,787	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	[KPI]鳥取大学・公立鳥取環境大学市内就職者数	人	目標	216
			実績	156	0	0	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成24～26年度の平均。							
2	鳥取環境大学入学者数	人	目標	276	276	276	276	0
			実績	291	320	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 企画調整係 0857-20-3153</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P40（企011）</p> <p>【事業の概要】 鳥取県とともに共同設置した公立大学法人公立鳥取環境大学の運営経費の一部に充てるため、鳥取県と共同で大学運営費交付金及び大規模修繕等にかかる施設整備費補助金を交付するもの。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>運営費交付金</td> <td>施設整備費補助金</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>512,399千円</td> <td>(H28は運営費交付金を含む)</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>410,518千円</td> <td>74,117千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>418,880千円</td> <td>44,356千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 大学の安定的な運営の確保に必要な事業である。設置者として、大学が地域のニーズに応じた取組を推進し、本市の地方創生に貢献するよう求めていく。</p>		運営費交付金	施設整備費補助金	平成28年度	512,399千円	(H28は運営費交付金を含む)	平成27年度	410,518千円	74,117千円	平成26年度	418,880千円	44,356千円
		運営費交付金	施設整備費補助金										
平成28年度	512,399千円	(H28は運営費交付金を含む)											
平成27年度	410,518千円	74,117千円											
平成26年度	418,880千円	44,356千円											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】鳥取大学・公立鳥取環境大学市内就職者数	72%				
	2	鳥取環境大学入学者数	105%	105%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>公立大学法人公立鳥取環境大学の安定的な運営の確保に必要な事業である。開設後15年が経過し、今後施設の大規模修繕の可能性が生じており、予算措置の際は、県・市での十分な調整を行い、今後も適正な事業執行に努める。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	002500	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	看護学生就職支援事業		所属名	健康こども部 保健医療福祉連携課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成25年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	運営方法	補助金交付
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人		
予算	予算事業名				予算事業コード	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内医療機関
意図 (どのような状態 にするために)	実習病院の不足解消につなげる。
手段 (どうするのか)	看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関に受講者の受講期間の基本給の一部を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①対象病院への補助金 交付	平成29年度 ①対象病院への補助金 交付	平成30年度 ①対象病院への補助金 交付	平成31年度 ①対象病院への補助金 交付	平成32年度 ①対象病院への補助金 交付	
	年度別実績	①対象病院への補助金 交付					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,047	0	0	0	0	
	直接経費 A	2,047	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,047	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		[KPI]鳥取市医療看護専門学校卒業生の市内医療 機関等への就職率	%	目標	0	0	0	70	0	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2	対象受講者数	人	目標	15	0	0	0	0	
				実績	13	0	0	0	0	
(指標の説明) 補助金交付対象となる受講者の人数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 連携係 0857-20-3914</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P87（健003）</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市では市民の健康を守る上でも現在及び将来にわたっての看護師不足解消のため、新たな看護師養成所の誘致に取り組み、平成27年4月1日、鳥取市医療看護専門学校が開校した。 ・実習指導者養成講習会の受講支援をすることにより、看護師養成所の実習病院の不足解消につなげる。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県等が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関に受講者の受講期間（約2か月）の基本給の一部を補助する。 ・受講者1人につき30万円を上限とする。 ・鳥取市単独の補助事業 <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成26年度実績</td> <td>補助対象者数</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助金額</td> <td>2,364,000円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度実績</td> <td>補助対象者数</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助金額</td> <td>2,450,000円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度実績</td> <td>補助対象者数</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助金額</td> <td>2,047,000円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 臨地実習の受入体制の整備に向け、引き続き事業を継続する。</p>	平成26年度実績	補助対象者数	26人		補助金額	2,364,000円	平成27年度実績	補助対象者数	19人		補助金額	2,450,000円	平成28年度実績	補助対象者数	13人		補助金額	2,047,000円
平成26年度実績	補助対象者数	26人																	
	補助金額	2,364,000円																	
平成27年度実績	補助対象者数	19人																	
	補助金額	2,450,000円																	
平成28年度実績	補助対象者数	13人																	
	補助金額	2,047,000円																	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】鳥取市医療看護専門学校卒業生の市内医療機関等への就職率					
	2	対象受講者数	87%	87%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>県が主催する講習会が年2回から1回になったことにより受講者が減少したものと考える。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	校務支援事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 平成30年度
	政策 施策	01 1102	豊かな心をもった、たくましいひとづくり 教育の充実・郷土愛の醸成		根拠法令、 根拠計画等	
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	内部管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	校務支援事業費	予算事業コード		01-09-01-03-01-03	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中学校教職員
意図 (どのような状態 にするために)	きめ細かな指導を可能とするため必要な情報を共有し、さらに、校務の負担を軽減することで、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、「教育の質の向上」と「学校運営の改善」を図る。
手段 (どうするのか)	教員が担うべき業務に専念できる環境整備することが求められ、その一つとして「統合型校務支援システムの整備」を市内全小中学校に導入する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校で導入する。	平成29年度 ①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校で導入する。	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	年度別実績	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校8校で導入した。				
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	1,073	0	0	0	0
	直接経費 A	1,073	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,073	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	校務支援システムの全校導入	単位	校	区分	目標	実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		(指標の説明) 校務支援システムの全校導入					8	8	0	60	59	0
	2					目標	実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)					0	0	0	0	0	0
	3					目標	実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)					0	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【10次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P221（教011）</p> <p>【事業の概要】 校務支援システムの全校展開による事務処理の統一化及び情報共有を進め、教職員等学校関係者が必要な情報を共有し、きめ細かな指導を可能とするとともに、校務の負担軽減を図り、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、「教育の質の向上」と「学校運営の改善」を図る。</p> <p>【事業の成果】 グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムを市内全小中学校に導入する。</p> <p>【今後の課題・方向性】 教員が担うべき業務に専念できる環境整備することが求められ、その一つとして「統合型校務支援システムの整備」がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	校務支援システムの全校導入	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムを市内全小中学校に導入する。		

事務事業評価シート

事務事業コード	002700	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校給食食物アレルギー対策事業		所属名	教育委員会事務局 学校保健給食課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成28年度 ~ 全期	
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり	根拠法令、 根拠計画等		
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		88%	90%		ソフト(任意)
	不登校児童・生徒の出現率		3.72%	2.5%		運営方法
予算	放課後児童クラブ数・受入人数		2,288人	3,303人	会計区分	
	予算事業名	学校給食食物アレルギー対策事業費			予算事業コード	01-09-05-03-06-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鶏卵と乳を食物アレルギーとする児童生徒
意図 (どのような状態 にするために)	食物アレルギーがある児童生徒が、他の生徒と安全に給食を食べれる機会を増やすことにより、保護者等の負担軽減と食育の効果を高める。
手段 (どうするのか)	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 ②WG開催 マニュアル見直し・改定	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 ②学校生活管理指導表導入	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	
	年度別実績	①除去食・代替食の提供 24人×3回/月					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	160	0	0	0	0	
	直接経費 A	160	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	160	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	0	0	0	0	
	(指標の説明) アレルギー食材を使用した給食数のうち、対象児童に提供した除去食・代替食の割合									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】当初 P240 (教050)</p> <p>【事業の概要】 献立の作成から給食センターでの調理作業等、学校での配食から児童生徒の喫食まで事故なく学校給食を提供する。また、アレルギー対応給食を実施するにあたり、研修会先進地視察などにより知識を深め、体制整備を図る。</p> <p>【事業の成果】 アレルギー対応給食の提供をするため、調理作業等に必要な備品、調理器具、調理器具の整備を行い、マニュアルの周知などを図りながら、乳・卵除去食、代替食の実施を行った。 H26年度 5,905千円 H27年度 1,191千円 H28年度 161千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 検討委員会を持ち、広く意見、要望をまとめる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> <small>概ね予定通り完了した。今後は、検討委員会等を実施し詳細を見直す等の取り組みが必要と考える。</small>		